令和 6 年 4 月 1 日～令和 8 年 3 月 31 日の間で、当院急性期病棟へ入院し廃用症候群リハビリテーション料を算定した患者様へ

当院では,より効果的・効率的な診療を行うことを目指して,患者様の診療情報を使用して研究を実施しています。この研究を実施することによる患者様への新たな負担は一切ありません。

1,研究課題名

当院の HAD に対する早期リハビリテーション取組報告　－日常生活動作に着目して－

2,研究の目的と意義

急性期病院に入院する患者様は,病気による身体機能の低下に加えて,入院中の運動量低下や安静により,入院前と比較して身体機能が低下することがあります。このような,安静が原因となる日常生活動作（ADL）の低下は,入院関連機能障害（HAD）と呼ばれ,退院後の生活や,退院先などにも影響すると報告されており,HAD を予防することは重要です。近年,急性期における早期リハビリテーションは,身体機能の維持・改善に有用である事が報告されています。さらに,早期リハビリテーションは安全に実施可能であることが示されています。一方,先行研究の多くは,急性期病院に入院した高齢者など,幅広い患者様を対象としており,廃用症候群患者様に限定した,早期リハビリテーションの有用性は十分に検討されていない状況です。本研究では,当院に入院した廃用症候群患者様を対象に,早期リハビリテーションが日常生活動作に及ぼす影響について検討します。

3,研究に用いる情報

・基本情報（患者 ID,年齢,性別,疾患名）
・データ（リハビリ開始時,退院時の Barthel Index（BI）,入退院時の移動方法,入院中の合併症の有無,
入院からリハビリ開始までの待機日数,入院中のリハビリ介入単位数,在院日数,退院先）

4,研究資金および利益相反管理について

本研究における特別な研究資金はありません。

5,個人情報の保護

・個人が特定できる情報は扱わず,この研究に関する情報が外部に漏れることは一切ありません。
・収集した試料・データは研究責任者が院外に持ち出さないように厳重に保管・管理します。
・この研究では,資料・情報は田岡病院のみで取り扱い,外部への提供はいたしません。
・この研究活動に関しては,当院の臨床研究倫理審査委員会で審査されています。
・この研究に同意されない場合は,下記の問い合わせ先にご連絡ください。
同意されない場合も何も不利益は生じません。

6,公表予定

日時：2026 年 11 月 1 日 第 37 回 徳島県理学療法士学会にて発表予定

7,お問い合わせ先（研究責任者）

医療法人倚山会 田岡病院 リハビリテーション科　岡田　拓也
田岡病院リハビリテーション室：088-612-8852